

安全・安心のしおり

本校では、自然豊かなキャンパスで安全で安心な生活を営めるように、様々な対策に取り組んでいます。

I. 防犯対策

- ・日中は正門に警備員が常駐しており、その他の門は常時施錠し閉門しています。
- ・外部からの訪問者(来客)は受け入れ担当部門から総務部に事前連絡し、総務部は正門警備員と共有します。訪問者(来客)は全て識別可能にするためゲストタグをつけます。
例外的に、大きなイベントの時は警備員を増強してゲストタグをつけずに一般の方を受け入れる時もあります。
- ・夜間は警備員が常駐しています。
- ・幼児生活団と初等部、高等部には、警察への非常通報装置が設置されています。
- ・初等部では登下校確認メールシステムを導入し情報をご家庭とも共有しています。
- ・教職員を対象として、公的機関による不審者対応訓練を実施しています。

II. 防災対策

●耐震化について

- ・校舎や寮、図書館等の耐震工事は完了しており、非構造部材の対応も順次進めています。

●訓練実施について

- ・各部は学期ごとに、火災や地震を想定した避難訓練を実施しています。

●緊急時の体制について

1)安否確認

- ・教職員の役割を組織化し、速やかに災害時対応が開始できるように準備をしています。
- ・時間割等を一括管理し、生徒の所在を素早く把握できるようにしています。
- ・学内の被害状況や具体的な対応は、ホームページやメールなどでご報告致します。

2)その他

- ・学内には小型無線機が配備されており、停電時でも連絡が取れるようにしています。
- ・東久留米市役所との間で直通の防災無線が設置されています。
- ・AM1242(ニッポン放送)で、各私立学校単位の「学校安否情報」が放送されます。

●災害時用備蓄状況について

- ・初等部は防災頭巾を各自の机の近くに用意しています。
- ・中等部と高等部の寮生は、非常持ち出し袋を各自で用意しています。
- ・水と食糧は 5 日間分の備蓄があり、その他の災害用備蓄品も順次適正数をそろえていっています。
- ・停電時でも井戸水を汲み上げられるように大型発電機、その他小型発電機も数台備えています。
- ・帰宅が困難になった場合に備えて毛布や宿泊スペースなどを確保しています。

●災害時の在校生の帰宅方法について

- ・通学生は引き渡しを原則とし、保護者との連絡がつくまでは学校でお預りいたします。
- ・寮生は帰宅方面別にグループを作り、それぞれ教師が引率して帰宅させます。

●その他

・東京の私立学校(小中高)は、災害時に所在不明の子どもを出さないように、「登下校時の緊急避難校ネットワーク」により相互に協力しています。

Ⅲ. 食事対策

- 本校は「食の学び」を教育の重要な柱の一つと考え、児童、生徒、学生、教職員が協力して準備し、昼食だけでなく寮における朝夕の食事も全員でとるようにしています。安全・安心な食事ができるよう、各種対応を図っています。
- 「食材調達のガイドライン」を設け、より安心して安全な食材の調達に心がけています。具体的には、①新鮮なもの、②旬のもの、③美味しく栄養価の高いもの、④極力農薬や添加物が使用されていないもの、⑤食材の産地が明らかでトレーサビリティ(追跡可能性)のあるもの、を使用するようにしています。
- 食事のバランスを欠くことが無いように、栄養士が中心となって、献立作成や栄養管理を行っています。
- 食材の調理にあたっては文部科学省のマニュアルに基づき一定の基準を設け、衛生管理には十分に配慮をしています。
- 本校では、調理員だけでなく生徒や保護者など多くの方々が食事作りに携わっております。安全な食事作りが行われるよう、体制整備を図っています。

Ⅳ. 水について

- 本校では、井戸水を生活用水として使用しておりますので、定期的に水質検査を実施し、保護者にはその数値を年に1回報告しています。尚、水に含まれる有機フッ素化合物については保健所の指導の下、国が暫定的に設けた目標数値基準より低い値であることを確認しています。

【お問い合わせ】

学校法人自由学園

〒203-8521 東京都東久留米市学園 1-8-15 TEL 042-422-3111(代)